

令和6年度 第2回

徳島県読書バリアフリー推進協議会

別冊資料

基礎資料①	徳島県読書バリアフリー推進計画」策定までの経緯	…… 1
基礎資料②	国の法律（読書バリアフリー法）及び基本計画について	… 2
基礎資料③	「徳島県読書バリアフリー推進計画」について	…… 3
基礎資料④	読書バリアフリーの取組状況について	…… 5

.....

【議事関係資料】

資料①	県の「読書バリアフリー推進事業」について	…… 9
資料②	令和6年度「読書バリアフリー推進事業」の進捗状況	… 11
資料③	令和7年度の取組方針について	… 18

※別添資料

- ・視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画（第二期）（案）
- ・（国）読書バリアフリー基本計画（第二期）案の概要
- ・「基本的施策に係る指標」の概要

令和7年3月7日
徳島県教育委員会生涯学習課

基礎資料①

「徳島県読書バリアフリー推進計画」策定までの経緯

1 国の動き

- ①平成26年(2014) 国連の「障害者の権利に関する条約」批准
- ②平成28年(2016) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」
(障害者差別解消法)
- ③平成30年(2018) 「盲人、視覚障害者その他の印刷物の判読に障害のある者が発行された著作物を利用する機会を促進するためのマラケシュ条約」締結承認
- ④平成30年(2018) 著作権法改正

【著作権法改正の概要】

- (1)視覚障がい者等のために書籍の音訳等を著作権者等の許諾なく行うことを認める。
- (2)対象を視覚障がい者のほか、発達障がい者、肢体不自由等により書籍を持てない者も含む。
- (3)音訳等を行える団体等として、障がい者施設、図書館等の公共施設の設置者、一定の条件を満たすボランティア団体等も加わる。
- (4)インターネットによる配信やデータのメール添付による送信を認める。

- ⑤令和元年(2019)6月 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」
(読書バリアフリー法) 施行
- ⑥令和2年(2020)7月 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」(読書バリアフリー基本計画) 策定

2 県の動き

①令和3年(2021)1月 「徳島県読書バリアフリー推進協議会」設置

(1)第1回協議会(令和3年1月25日(月))

- ・「徳島県読書バリアフリー推進協議会の設置」及び「視覚障がい者等の読書に関する現状と課題」について
- ・委員からの意見聴取及び協議

(2)第2回協議会(令和3年2月19日(金))

- ・「徳島県読書バリアフリー推進計画」骨子案について
- ・委員からの意見聴取及び協議

(3)第3回協議会(令和3年5月28日(金))

- ・「徳島県読書バリアフリー推進計画」骨子案に係るパブリックコメントの実施結果について
- ・「徳島県読書バリアフリー推進計画(案)」について

②令和3年(2021)7月 「徳島県読書バリアフリー推進計画」策定

基礎資料②

国の法律（読書バリアフリー法）と基本計画について

1 目的

視覚障害者等の読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進し、もって障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与することを目的とする。

2 「視覚障害者等」の定義について

視覚障害、発達障害、肢体不自由その他の障害により、書籍（雑誌、新聞その他の刊行物を含む）について、視覚による表現の認識が困難な者

3 計画策定についての規定

○国（法第7条）

「基本計画を定めなければならない。」

○地方公共団体（法第8条）

「基本計画を勘案して（中略）計画を定めるよう努めなければならない。」

4 地方公共団体における計画策定の留意点

- ①国計画は、当面の取組の方向性を示したものの。対象期間は令和2年度から令和6年度までとする。
- ②国においても、引き続き関係者による協議会を設置し、課題の解決に向けた取組を実施していく方針。実施にあたって国は必要な財源の確保に努める。
- ③対象者である視覚障害者等には、盲、弱視（ロービジョン）、盲ろう、発達障害、肢体不自由等、様々な特性があることを踏まえて取り組むこと。
- ④聴覚障害者、知的障害者、高齢者、外国人等、様々な状況により読書や図書館の利用に困難を伴う者への配慮も認識して取り組むこと。
- ⑤国、地方公共団体、公立図書館、社会福祉法人、教育機関、企業等の関係者相互の連携及び協働が重要。
- ⑥策定にあたっての各種会議の構成員には、視覚障害者等の読書環境の整備を支援する団体の関係者や視覚障害等当事者が含まれるよう努めること。
- ⑦当面の取組の方向性を示した計画を策定の上、策定後も実態把握の実施や定期的な評価、より具体的な目標や達成時期等についての検討をすること。
- ⑧市町村に対しても計画策定を働きかけること。
- ⑨支援施策についてHP・SNS・広報誌等による周知活動に努め、周知にあたってはテキストや点訳データの準備など、障害特性を考慮した対応をすること。

基礎資料③

「徳島県読書バリアフリー推進計画」について

1 目的

視覚障がい等により、読書や図書館利用が困難な方々の読書環境を整備・充実させることによって、障がいの有無に関わらず、全ての県民が等しく文字・活字文化の恵沢を享受できる社会の実現を図ることを目的とする。

2 対象者

- (1) 読書や図書館利用に困難のある視覚障がい者、発達障がい者、知的障がい者、寝たきりや上肢に障がいがある等の理由により、書籍を持つことやページをめくることが難しい、あるいは眼球使用が困難である身体障がい者。
- (2) 障がい者手帳の所持の有無は問わない。

3 計画期間

令和3年度～令和7年度の5年間

4 基本的な施策の方向

- (1) アクセシブルな書籍等の充実及び製作人材の育成・確保 つくる・そろえる
(アクセシブルな＝利用しやすい)

- ・ 点字図書館、公立図書館、大学図書館、学校図書館における書籍の充実
- ・ 障がいの特性や程度に応じた、様々な分野の書籍等の充実
- ・ 相互貸借できるための連携体制の構築
- ・ 若年者の製作人材の育成（高校生の音訳・点訳講習会、製作体験）
- ・ 地域における製作人材の育成、継続的な活動の検討
- ・ 多様な関係者による効率的な製作体制の検討
- ・ 製作を行う者への製作手順の共有、効率化

- (2) アクセシブルな書籍等の入手及び利用のための支援 つかう

- ・ 「国立国会図書館視覚障がい者等用データ送信サービス」、「サピエ図書館」（視覚障がい者等が利用できるインターネット図書館）の利用促進
- ・ 一人一台端末を活用した、児童生徒のマルチメディアデイジー図書（音声、文字、画像で楽しめるデジタル図書）等の利用促進
- ・ 様々なバリアフリー図書や読書支援機器の貸出、体験機会の確保
- ・ 中途視覚障がい者等への読書支援機器の周知
- ・ 様々なバリアフリー図書の紹介
- ・ ICTスキルの習得支援、そのための人材育成及び公立図書館等職員への研修の実施

(3)読書を支援する環境の充実と人材の養成

ささえる・ひろげる

- ・ 図書館等のバリアフリー化、障がい者サービスの充実
- ・ 点字図書館と公立図書館等とのネットワークの構築
- ・ 学校図書館を活用した読書支援の充実のため、司書教諭・学校司書及び図書館サポーターの配置促進
- ・ 読書や図書館利用が困難な児童生徒に対する公立図書館の利用方法の習得支援、そのための点字図書館・公立図書館・学校図書館の連携
- ・ 読書及び図書館利用を支援する職員への障がい者サービスに関する研修の実施、ピアサポートできる司書及び職員の育成及び環境整備
- ・ 「図書館サポーター養成講座」において、視覚障がい者等への読書支援に関する講座開設
- ・ 読書バリアフリーについての県民への理解促進

基礎資料④

読書バリアフリーの取組状況について

I 令和3年度

	【国の動き】	【県の動き】
4月	○「読書バリアフリー 啓発用リーフレット」 各都道府県に配布	
7月		★「徳島県読書バリアフリー推進計画」策定 □「高校生のための音訳講習会」開催 (ひろがる読書推進事業)
10月		★「読書バリアフリー推進事業」開始 ○貸出用デイジー図書再生機器 「プレクストーク」等整備、貸出開始 □「図書館サポーター養成講座」 ・視覚障がい等のある児童生徒への読書支援 の講座を追加 (ひろがる読書推進事業)
11月		○「第1回公立図書館等職員研修会」 ・プレクストークの操作実習 ・サピエ図書館について(講演)
12月		○音訳図書製作体験開始(～1月) (城北高校放送部)
2月		○「第2回公立図書館等職員研修会」 ・県立図書館、徳島市立図書館の障がい者サ ービスについて(発表と意見交換) ・鳥取県立図書館の取組について(講演)
3月	○読書バリアフリー ウェブサイト開設 (学校図書館等におけ る読書バリアフリーコ ンソーシアム)	

2 令和4年度

	【国の動き】	【県の動き】
4月		○各学校・公立図書館等へ「読書バリアフリーコンソーシアムのウェブサイト開設」について周知
7月		○「バリアフリー図書セット」の貸出開始
8月		☐ 「図書館サポーター養成講座」 ・視覚障がい等のある児童生徒への読書支援の講座を開催（ひろがる読書推進事業） ☐ 「高校生のための音訳・点訳講習会」開催（ひろがる読書推進事業）
11月		○「第1回公立図書館等職員研修会」 ・サピエ図書館の利用方法（実習） ・国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスの利用方法（講演）
12月		○音訳図書製作体験開始（～2月） （鳴門高校放送部）
1月	○「学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム」公開シンポジウム開催（オンライン）	○各学校、公立図書館等へ「読書バリアフリーコンソーシアム公開シンポジウム」の開催について案内
3月		○「第2回公立図書館等職員研修会」 ・読書サポート入門（講演） ・読書が困難な方々との意見交換 ○読書バリアフリー啓発ポスター作成

3 令和5年度

	【国の動き】	【県の動き】
4月	令和5年度「読書バリアフリーコンソーシアム」の公募開始	○市町村訪問で、各教育委員会や関係機関に読書バリアフリー啓発ポスター・チラシ配布と掲示の依頼 ○各学校・公立図書館等へ「読書バリアフリーコンソーシアム」公募について案内
5月		○学校図書館協議会で、バリアフリー図書セット貸出について説明、読書バリアフリー啓発ポスター配布と掲示を依頼
7月		○「第1回公立図書館等職員研修会」 ・読書の可能性と未来について（講演） ・読書バリアフリーの現状と課題（講演）
8月		□「図書館サポーター養成講座」 ・視覚障がい等のある児童生徒への読書支援の講座を開催（ひろがる読書推進事業） ○「高校生のための音訳・点訳講習会」開催
12月		○音訳図書製作体験（～2月） （城ノ内中等教育学校（高等部）放送部）
2月	令和6年度「読書バリアフリーコンソーシアム」の公募開始	○各学校・公立図書館等へ「読書バリアフリーコンソーシアム」公募について案内 ○「第2回公立図書館等職員研修会」 ・ミニ福祉機器展（展示・説明） ・読書の多様性を支える仕事をどう作っていくか（講演）
3月		○読書バリアフリー啓発ポスター作成

4 令和6年度

	【国の動き】	【県の動き】
4月		○市町村訪問で、各教育委員会や関係機関に読書バリアフリー啓発ポスター・チラシ配布と掲示の依頼 ○高校放送部顧問会議で音訳図書製作体験校（1校）の依頼
5月		○学校図書館協議会で、バリアフリー図書セット貸出について説明、読書バリアフリー啓発ポスター配布と掲示を依頼
7月	関係者協議会① 基本計画（第二期）に向けた意見聴取	□「図書館サポーター養成講座」 ・視覚障がい等のある児童生徒への読書支援の講座を開催（未来につなぐ読書推進事業）
8月	各省庁等会議① 基本計画（第二期）素案の確認	○「高校生のための音訳・点訳講習会」開催
9月		○第1回公立図書館等職員研修会
10月	関係者協議会② 基本計画（第二期）の案の確認	○OUR徳島10月号にバリアフリー図書の記事を掲載 ○「あどばいすタイム」で読書バリアフリーの内容についてオンデマンド配信
12月	関係者協議会③	○音訳図書製作体験（～2月）（徳島市立高等学校放送部）
1月	パブリックコメント	
2月	各省庁等会議② 基本計画（第二期）案の了解 令和7年度「読書バリアフリーコンソーシアム」の公募開始	○第2回公立図書館等職員研修会 ○各学校・公立図書館等へ「読書バリアフリーコンソーシアム」公募について案内
3月	基本計画（第二期）公表	

資料①

県の「読書バリアフリー推進事業」について

1 目的

「徳島県読書バリアフリー推進計画」における3つの基本的な施策の方向に基づき、視覚障がい、発達障がい、知的障がい、上肢障がい等により、活字による読書や図書館利用が困難な方々の読書環境を整備・充実させることによって、障がいの有無に関わらず、全ての県民が等しく文字・活字文化の恵沢を享受できる社会の実現に向け、関係機関と連携して事業に取り組む。

2 事業委託先

社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団 視聴覚障がい者支援センター

※厚労省補助事業活用

「地域生活支援促進事業（地域における読書バリアフリー体制強化事業）」

3 事業内容

(1)アクセシブルな書籍等の充実及び製作人材の育成・確保 つくる・そろえる

高等学校での音訳図書製作体験

高校生のための点訳・音訳講習会

音訳図書等の製作を担うボランティアの高齢化及び新規人材の育成が課題となっていることから、高等学校放送部等において、作成したデイジー図書を視覚障がい者等に利用していただくことを目途に、音訳図書の製作体験を実施し、若年者の製作人材育成を図る。

(2)アクセシブルな書籍等の入手及び利用のための支援 つかう

公立図書館等における読書支援機器・バリアフリー図書の利用促進

視覚障がい者等の活字による読書が困難な方々が、読書支援機器や様々なバリアフリー図書を利用して読書に親しむことができるよう、公立図書館等に「デイジー図書再生機器」及び「バリアフリー図書セット」の貸出体制を整備し、広く県民の皆様に体験していただくことで、様々な障がいの方に利用いただけるよう取組を進める。

(3)読書を支援する環境の充実と人材の養成 ささえる・ひろげる

公立図書館等職員研修

視覚障がい者等が身近な地域の図書館を利用しやすい環境づくりを図るため、公立図書館等職員を対象に、読書支援機器・端末機器の操作方法、障がい特性に応じた読書媒体や支援ツールの知識、サピエ図書館の利用方法等の、障がい者サービスの知識習得のための研修を行うとともに、点字図書館や公立図書館等の連携体制を構築する。

成果指標 (令和7年1月31日までの実績)

	成果指標	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7 目標
(1) つくる・ そろえる	点字図書館のアクセシブルな書籍等〈タイトル数〉	21,834	22,017	22,158	22,367	22,644	22,834
	所蔵数						
	年間貸出数	7,175	6,313	5,158	3,427	3,568	7,200
	点字図書館のアクセシブルな書籍等のサピエ図書館への年間アップロード数	95	87	83	68	97	100
	県立図書館のデイジー図書・マルチメディアデイジー図書〈タイトル数〉	464	486	522	554	590 12月末	565
	年間貸出数	20	83	105	121	132 12月末	40
	県立図書館の音声読み上げ対応電子書籍〈タイトル数〉	333	388	535	773	1,091 11月末	433
(2) つかう	点訳・音訳奉仕員の年間養成者数	20	8	13	24	13	30
	高校生の点訳・音訳講習会及び製作体験 参加者数 累計	—	17	53 R4 36	80 R5 27	101 R6 21	100
	サピエ会員（個人会員）登録者数	111	111	117	121	124	150
(3) ささえる・ ひろげる	点字図書館の利用登録者数	729	725	712	717	711	850
	点字図書館のアクセシブルな書籍等を利用するための端末機器の延べ貸出回数	8	11	4	6	5	50
	公立図書館等へのバリアフリー図書セットの貸出件数 累計	—	—	5	17 R5 12	25 R6 8	50
(3) ささえる・ ひろげる	図書館職員等への読書バリアフリー関連講座や研修会の受講者数 累計	—	59	133 R4 74	201 R5 98	274 R6 73	150
	R4 公立図書館等職員研修会 44名 図書館サポーター養成講座 30名						
	R5 公立図書館等職員研修会 64名 図書館サポーター養成講座 34名 R6 公立図書館等職員研修会 44名 (第1回目職員研修会のみ) 図書館サポーター養成講座 29名						

資料② 令和6年度の事業の進捗状況

Ⅰ 高等学校での音訳図書製作体験

※令和6年4月18日（木）13:30～ 高校放送部顧問会議にて
「読書バリアフリー推進事業」の説明及び体験校（1校）の依頼

内 容：録音図書の製作に必要な知識と技術を学び、録音図書の製作を体験する。

実施期間：令和6年12月から令和7年2月までの間
全6回12時間

体験者：徳島市立高等学校放送部 5名

会 場：徳島市立高等学校・徳島県立障がい者交流プラザ

講 師：視聴覚障がい者支援センター 平田 清美氏

製作図書：宮沢賢治『注文の多い料理店』（新潮文庫）

	日 時	内 容	会 場
1	令和6年12月24日（火）	録音図書について	市立高校
2	令和6年12月27日（金）	録音ソフトの操作方法①	市立高校
3	令和7年 1月11日（土）	録音ソフトの操作方法② 録音作業	交流プラザ
4	令和7年 1月31日（金）	修正作業① 校正作業	市立高校
5	令和7年 2月12日（水）	修正作業② 編集作業	交流プラザ
6	令和7年 2月18日（火）	録音図書CD製作完了	市立高校



・ 録音ソフトの操作方法



・ 録音作業



・ 修正作業



・ 利用者からの講評

2 公立図書館等における読書支援機器・バリアフリー図書の利用促進

- 内 容：①デージー図書再生機器の貸出（R4整備）
 ②バリアフリー図書セットの整備・貸出（R4整備、R5拡充）
 音声デージー図書、マルチメディアデージー図書、
 点字図書等30タイトル程度を8セット整備
 ※R5～マルチメディアデージー用のタブレット拡充
- 貸出対象：公立図書館、学校図書館、特別支援学校等
 貸出内容：公立図書館等における体験会等への貸出
 公立図書館等職員研修会等への貸出
 各学校の授業や「総合的な探究の時間」等への貸出

※バリアフリー図書セットの貸出実績

北島町立北島南小学校	1セット
徳島県立小松島西高等学校	1セット
藍住町立図書館	1セット
徳島県立阿波高等学校	1セット
徳島県立小松島西高等学校勝浦校	1セット
徳島県立川島高等学校	1セット
東みよし町立加茂小学校	1セット
北島町立図書館創世ホール	1セット

(1) 「図書館サポーター養成講座②」（未来につなぐ読書推進事業）への貸出

日 時：令和6年7月20日（土） 13:00～15:30
 場 所：徳島県立総合教育センター 2階 大研修室
 参 加：29名
 内 容：「視覚障がい等のある児童生徒への読書支援」
 講 師：視聴覚障がい者支援センター 上原 あい氏



・バリアフリー図書についての講義



・バリアフリー図書を展示

(2) 公立小学校への貸出

期 間：令和6年5月下旬～7月下旬

内 容：視覚障がいのある児童が体験利用。
ブ렉ストーク（音声デイジー）を活用して、朝の読書の時間や休み時間等に、読書を楽しむことができた。



(3) 小松島西高等学校・勝浦校への貸出

期 間：6月中旬～

内 容：エッセイスト三宮麻由子さんの講演にあわせて、学校図書館に展示。
福祉科の生徒が、授業の中で、バリアフリー図書を体験。



(4) 「読書バリアフリー」の内容についてオンデマンド配信

公開日：10月28日（月）～

担 当：視聴覚障がい者支援センター 上原 あい 氏

内 容：読書バリアフリー法について
読書バリアフリーを推進していく意義
様々な読書の方法、読書支援機器の紹介

※別紙資料参照（「あどばいすタイム」主催：徳島県立総合教育センター特別支援・相談課）

(5) 東みよし町立加茂小学校への貸出

日 時：令和6年12月13日（金）

担 当：視聴覚障がい者支援センター 上原 あい 氏

内 容：小学生を対象とする点字教室でバリアフリー図書を体験



・ 点字教室



・ 点字図書を体験

(6) 阿波高校への貸出

日 時：令和6年8月20日（日）

令和6年9月 8日（日）

令和6年9月22日（日）

令和6年9月29日（日）

※研修会

※阿波高校学校祭（文化祭）

※吉野川市立鴨島図書館

※阿波市土成図書館

場 所：阿波高校・吉野川市立鴨島図書館・阿波市土成図書館

タイトル：「読書バリアフリーを体験しよう」

内 容：バリアフリー図書についての研修（総合的な探究の時間）

学校祭でバリアフリー図書の展示と体験会を実施

吉野川市立鴨島図書館・阿波市立土成図書館で、バリアフリー図書の体験会を実施



・バリアフリー図書についての研修



・文化祭での展示と体験会



・阿波市立土成図書館での体験会



・吉野川市立図書館での体験会

※阿波市立土成図書館での様子（阿波市ケーブルテレビ撮影・放送）視聴

(7) OUR徳島10月号にバリアフリー図書に関する記事の掲載

※別紙参照

3 公立図書館等職員研修 年2回開催

(1) 第1回研修会 ※令和6年度第2回徳島県図書館職員研修会を兼ねる

日 時：令和6年9月13日（金）10:00～12:00

場 所：徳島県立図書館 3階 集会室1

内 容

〈午前〉 講演 対面

演題 「図書館のソフト面でのバリアフリー～わかりやすい情報・サービスをめざして」

講師 一般社団法人スローコミュニケーション
副理事長 羽山 慎亮 氏

(2) 第2回研修会

日 時：令和7年2月7日（金）10:00～15:30

場 所：徳島県立21世紀館1階 イベントホール

内 容

〈午前〉 講演 （対面及びオンライン）

演題 「読書バリアフリー法を活用して図書館・学校図書館は何をすべきか」

講師 日本図書館協会障害者サービス委員会 委員長
埼玉県立久喜図書館 司書主幹 佐藤 聖一 氏
りんごプロジェクトナビゲーター 古市 理代 氏

〈午後〉 ①事例報告（対面及びオンライン）

（ア）テーマ「調布市立図書館の利用支援について」

発表者 調布図書館利用支援係長 小塚 聡子 氏

（イ）テーマ「りんごの棚から始まる学校・学校図書館の取組」

発表者 りんごプロジェクト 横浜市立幸ヶ谷小学校
学校・地域コーディネーター 佐伯 美華 氏

（ウ）テーマ「高等学校における公立図書館と連携した読書バリアフリーの取組」

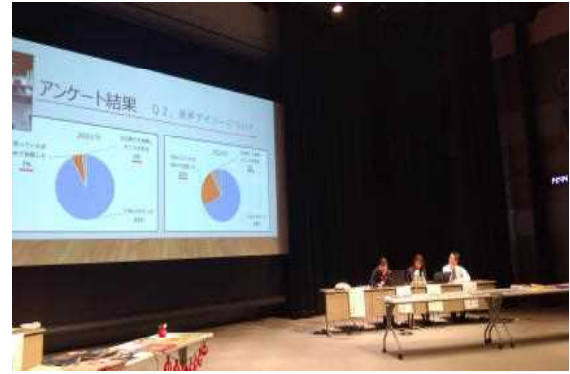
発表者 徳島県立阿波高等学校

②質疑応答・意見交換

コーディネーター 日本図書館協会障害者サービス委員会
委員長 埼玉県立久喜図書館
司書主幹 佐藤 聖一 氏
りんごプロジェクトナビゲーター
古市 理代 氏



・佐藤氏と古市氏による講演



・阿波高校による事例発表



・りんごの棚の紹介



・りんごプロジェクトのバリアフリー図書

研修参加者のアンケートより

〈午前〉

- ・読書バリアフリーについて、きちんと理解することができました。どんな人にも、色々な方法で図書館を利用できるようにすること、来館できない、読める本がない、そのような人をなくすために、当図書館の課題もたくさんあると感じました。
- ・読書や図書館のバリアフリーについて、今まできちんと学んだり把握しきれていなかった初歩的な部分からご講演いただき、大切な視野・視点について気づきや学びを深めることができました。
- ・読書バリアフリー法が施行され、当館でも「読書支援コーナー」を設置しました。しかし、多くの方に認知していただき、活用されているかという点で、当館でのサービスには改善の余地があることに改めて気づきました。

〈午後〉

- ・りんごの棚や具体的なバリアフリー活動について紹介いただき、大変参考になりました。館での新しい展示や取組に活かしていきたいです。
- ・横浜市や県内の高校生の活動を知ることができて良かったです。高校生に刺激をもらいました。図書館で働いている身として、この機会に読書バリアフリー推進の活動を行いたいです。
- ・調布市の「利用支援サービス」という名称がとてもよいものだとおもいました。サービスを行うには、図書館の運営方針、事業計画に明記しておくというのではないかと感じました。

4 高校生のための音訳・点訳講習会

(1) 点訳講習会

日 時：令和6年8月2日（金）14:00～16:30

場 所：あわぎんホール4階 会議室2・3

参 加：高校生13名（8校）

講 師：視聴覚障がい者支援センター 上原 あい 氏

視聴覚障がい者支援センター 西崎 千尋 氏

内 容：点字の基礎、点訳のルール、点字盤を使った点字体験など



・点字の基礎・ルールに関する講義



・点字盤を使った点字体験

<参加者の感想>

- ・つなぎ符や数符など、読みやすい工夫がたくさんあることに興味を持った。
- ・点字を書く面と読む面で文字がどちらからでも読めたことが面白かった。
- ・機会があれば、点訳のボランティアに参加したい。

(2) 音訳講習会

日 時：令和6年8月9日（金）14:00～16:30

場 所：日本フネン市民プラザ2階・多目的室（中）

参 加：高校生8名（3校）

講 師：視聴覚障がい者支援センター 平田 清美 氏

視聴覚障がい者支援センター 三井 昭代 氏

内 容：デイジー図書について、専用ソフトを使った録音体験など



・専用ソフトを使って録音体験



・読書バリアフリーののぼりと一緒に

<参加者の感想>

- ・録音の微調整が難しかった。大変だけどやりがいのあるボランティアだと感じた。
- ・「届けたい」という気持ちが声になって、実際に助けになることが素晴らしい。
- ・大学受験が終わったら、ボランティアをさせていただこうと思います。

資料③ 今後の取組方針について

1 令和7年度「読書バリアフリー推進事業」

- (1) 高等学校での音訳図書製作体験 (継続)
- (2) 高校生のための音訳・点訳講習会 (継続)
- (3) バリアフリー図書セットの整備・貸出 (継続・拡充)
- (4) 公立図書館等職員研修 (継続・拡充)
- (5) 特別支援学校の読書バリアフリー推進(新規)
 - ・特別支援学校の学校図書館におけるバリアフリー図書の整備、誰もが利用しやすい図書館の環境作りの支援
- (6) 普及・啓発 (継続)
 - ・総合教育センター1階マナビィセンターに「りんごの棚」設置
 - ・バリアフリー図書セットの貸出に関する好事例を紹介

2 令和7年度に向けた課題

- (1) 「サピエ図書館」や「国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスの利用促進(会員登録数を増やす)

取組内容：①国立国会図書館HP内の「視聴覚障がい者用データ送信サービス(図書館向け案内)」や「わいわい文庫」について、公立図書館及び学校図書館に周知。

- (2) 中途視覚障がいや、視覚障がい以外の発達障がい、知的障がい、上肢障がい等の方々への周知・啓発(潜在的利用ニーズの掘り起こし)

取組内容：①市町村教育委員会及び社会福祉協議会、公立図書館・学校図書館、医療機関、大型商業施設に対して、読書バリアフリー啓発ポスター・チラシの配布と掲示を依頼。

- (3) 児童生徒及び学生のバリアフリー図書の利活用促進

取組内容：①市町村訪問や事業説明会、連絡協議会などに出向き、市町村教育委員会や学校関係者に対して、バリアフリー図書の説明を行い、バリアフリー図書セットの活用を推進。
②図書館や公共施設、商業施設などで、バリアフリー図書の体験会を実施。
③大学・専門学校・高専へのバリアフリー図書セット貸出を案内。
④公立図書館・学校図書館等への「りんごの棚」設置の啓発。